

# オピニオン

## 記者の目

松原 由佳  
高知支局



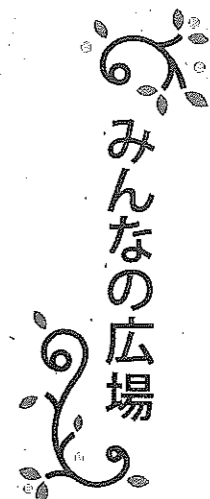
### 「高知ビキニ被ばく国賠訴訟」

友人と映画を見に行く。撮影、照明、美術、音響など、終わりがけに「もう映画は各分野の専門スタッフがおり、そのほとんどに助手がうちに早く出ようよ」とせかされる。しかし、私は余韻を楽しみながら最後に流れるエンドロールをゆっくり見るのが好きである。作品の主題曲が流れる間、何百人もの関係者の名前が画面下から出てくる。出演者のほか演出や製作、

### 収束後もっと映画館へ

大学生 石井 颯悟(鹿児島市)

夜8時前、添い寝していた生まれつきの長女を起ささないようにベッドを抜け出し、リビングにいた小学1年生になる長男に声をかけた。「もうすぐ宇宙ステーションが見られるよ」「ほんとう?」「早く早く」2人でベランダに出る



### みんなの広場

かな。おーい!。2人で点に向かって手を振った。数分もたたないうちに、点は北東の空へ、ゆっくりと消えていった。「僕がさっき食べたアイスみたい」。溶けるように見えなくなると、健康不安を抱えながら生きてきたと聞く度に「決して第五福竜丸だけの問題ではない」との思いを強くした。私が使った高校の教科書では、ビキニ事件は「第五福竜丸事件」として扱われていた。矮小化の原因の一つが55年の日米政治決着だ。日本政府は米国の法的な責任を問わないまま「見舞金」として200万円(当時で7億2000万円)を受け取ることで合意し、「完全な解決」とした。多くの船員の被ばく実態を明かさず、救済もなかった。事態は13年、米国立公文書館で新たな資料が見つかった。2018年春から裁判を担担し、元船員の家々を回

楽しい田植え



田辺 勝一(無職・大阪府岸和田市)

### コロナ対応で国会延長を

自由業 高木 洋志(兵庫県宝塚市)

現在の通常国会の会期は6月17日まで。政府・与党は新型コロナウイルス対策の第2次補正予算も国会中に成立させて閉会する方針である。だがコロナ禍によって、感染防止に努める生活も経済活動も予断を許さない厳しい状態が続くことが予想される。そういう状況に臨機応変の対策が求められるため、国会を延長すべきである。特効薬やワクチンが開発されるまでに感染の第2波、第3波が襲ってくることを危惧されている。今は有事であり、何よりスピー

### ふんす塔

甘さ抜群  
夕張メロンだね  
検事長の訓告だよ  
(北海道・あのか)

みんなの広場投稿募集 本文400字程度。住所、氏名、年齢、職業(元職も可)、電話番号(携帯番号も)を明記し、毎日新聞各本社・支社(住所は1面題字下)「みんなの広場」係へ。ファクスは03・3212・0825。ホームページでの投稿受け付けは<https://mainichi.jp/contribution/>から。匿名、二重投稿はご遠慮ください。

## 「放置のまま」許されぬ



控訴審判決後に「不当判決」と書かれた紙を掲げる支援者。亡くなった元船員の写真を手にした遺族らは悔しさをにじませた。高松高裁前で2019年12月12日、松原由佳撮影

ニュースサイトに連載「65年後の問い びき二水爆実験 1954→2019」



「放置のまま」許されぬ。だが「完成」ではなかった。1、2審の判決は、いづれも元船員らの被ばくを認め、広島、長崎の被爆者と同様に救済が図られるべきだとの主張は理解できる。と思いをくんだ。そのうえで、原爆被爆者を救済する「被爆者援護法」の対象に、核実験の被ばく者も含まれると解釈することはできないと説明し、「立法院」と行政府による一層の検討に期待するほかに」との表現で、元船員らを救済する法律の必要性に言及した。3年に及ぶ裁判中、原告のうち少なくとも6人がこの世を去った。存命の元船員の多くは80代半ばだ。支援者は「この人たちがいなくなったことにしないでは」と訴える。全国には声を上げていない元船員もたくさんいると考えられる。国は裁判所の言葉を真摯に受け止め、一刻も早く法整備や金銭的補償に乗り出すべきだ。元船員や遺族は上告を断念し、3月に国などを相手取って新たな訴訟を起した。政治決着で米国への損害賠償請求権が失われたと訴え、補償を求めて闘い続けている。ビキニ事件は終わっていない。